

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中川製袋化工株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市港町1丁目5-1

(3) 業種

1821 プラスチックフィルム製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度（2013年度）を基準年度とし、令和2年度から（2020年度）から令和5年度（2023年度）までの4年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和5年度 (2023)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	6,862	6,176 10.0	3,634 47.0	3,615 47.3	2,304 66.4	2,683 60.9	3,129 54.4
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	6,862	6,176 10.0	3,634 47.0	3,615 47.3	2,304 66.4	2,683 60.9	3,129 54.4
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成30年8月から丸紅新電力㈱に売電購入を変更したため、実排出係数を中国電力㈱から丸紅新電力㈱の排出係数を適用したため大幅な削減となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和5年度 (2023)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位（原油換算 k1)	2,329	2,097 10.0	2,223 4.6	2,047 12.1	1,872 19.6	1,772 23.9	1,688 27.5
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	原単位の削減	原単位・年1%以上の削減	変圧器等のスーパートップランナー機器の導入検討
2			LED等高効率照明器具の採用・更新
3			生産効率の向上
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	水銀灯のLED化	原単位及び温室効果ガス抑制 (1%削減目標)	検討・継続中
2	蛍光灯のLED化の推進	上記同様	上記同様
3	その他	上記同様	省エネに関する情報収集等の継続

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。